

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。
研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究

2. 研究の対象患者

選択基準：2011年1月1日から2020年12月31日の10年間に日本全国の医療機関において死亡が確認された糖尿病患者ならびに非糖尿病患者さん
除外基準：医師が本試験の対象として不適当と判断した患者さん

3. 研究の対象期間

2011年1月1日～2020年12月31日

4. 研究の概要

JDC Study および JDCP Study により、日本人糖尿病の病態に関する新たな事実が明らかとなっている。しかしながら、これらの研究では症例数に限りがあり、糖尿病患者の死因に関する検討を行うためには、より大規模な調査が必要である。アンケート調査をもとにした1971～1980年における死因の全国集計が小坂、坂本により初めて報告され、その後は日本糖尿病学会の「糖尿病の死因に関する委員会報告」として定期的に報告されている。

我が国における糖尿病患者の死因調査を定期的に実施し過去の成績と比較することは、病態の変化、平均寿命への影響、管理・治療法の進歩による効果などの多くの情報を得ることに繋がり、今後の対応と展望を考えるうえで非常に有益であると考えられる。

そこで、前4回とほぼ同様のアンケート調査を当委員会の名の下に行い、2011～2020年における日本人糖尿病患者の死因に関する解析を行い、これまでの成績と比較検討する。また、今回の調査では、非糖尿病患者の死因に関する調査を同時に行い、糖尿病患者と非糖尿病患者との比較を行う。

5. 研究実施予定期間

2021年5月19日～2024年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

アンケート調査（Ⅰ）には、各施設の特徴を把握する目的で、①病床数、②糖尿病患者数、③腎透析の可動あるいは非可動、④眼科医の有無、など

アンケート調査（Ⅱ）では、対象期間中に死亡した糖尿病患者の①性別、②死亡時年齢、③推定糖尿病発症年齢、④治療期間、⑤糖尿病の病型、⑥死因、⑦生前にみられた主な合併症、⑧治療内容、⑨死因の診断方法、⑩血糖コントロール状況

アンケート調査（Ⅲ）では、当該施設において対象期間中に死亡した非糖尿病患者の①性別、②死亡時年齢、③死因

7. 外部への試料・情報の提供

調査票作成時に各医療機関において符号化による連結可能匿名化を実施する。対応表は各医療機関にて保管する。（具体的に：情報収集を依頼する共同研究機関において、研究対象者氏名と符号（医療機関名称略称アルファベット2文字+取得順番号[001, 002...]）との対応表を作成する。委員会のもとには符号の付された情報が存在することとなるが、委員会のもとには対応表がないため、直ちに特定の個人を判別することは不可能。）連結不可能匿名化にしない理由：情報収集後にも疑義照会等のため、臨床データが必要である。

8. 研究組織

愛知医科大学 教授 中村二郎

熊本大学 教授 荒木栄一

京都大学 教授 稲垣暢也

山口大学 教授 谷澤幸生

国立国際医療研究センター研究所 糖尿病研究センター長 植木浩二郎

N T T東日本札幌病院 病院長 吉岡成人

東北大学 教授 片桐秀樹

東京大学 教授 山内敏正

京都大学 教授 中山健夫

愛知医科大学 准教授 神谷英紀

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・ 研究責任者： 糖尿病代謝内科 荻野淳

・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)

(研究代表者)

愛知医科大学 医学部内科学講座糖尿病内科 教授 中村二郎

電話：0561-63-1683